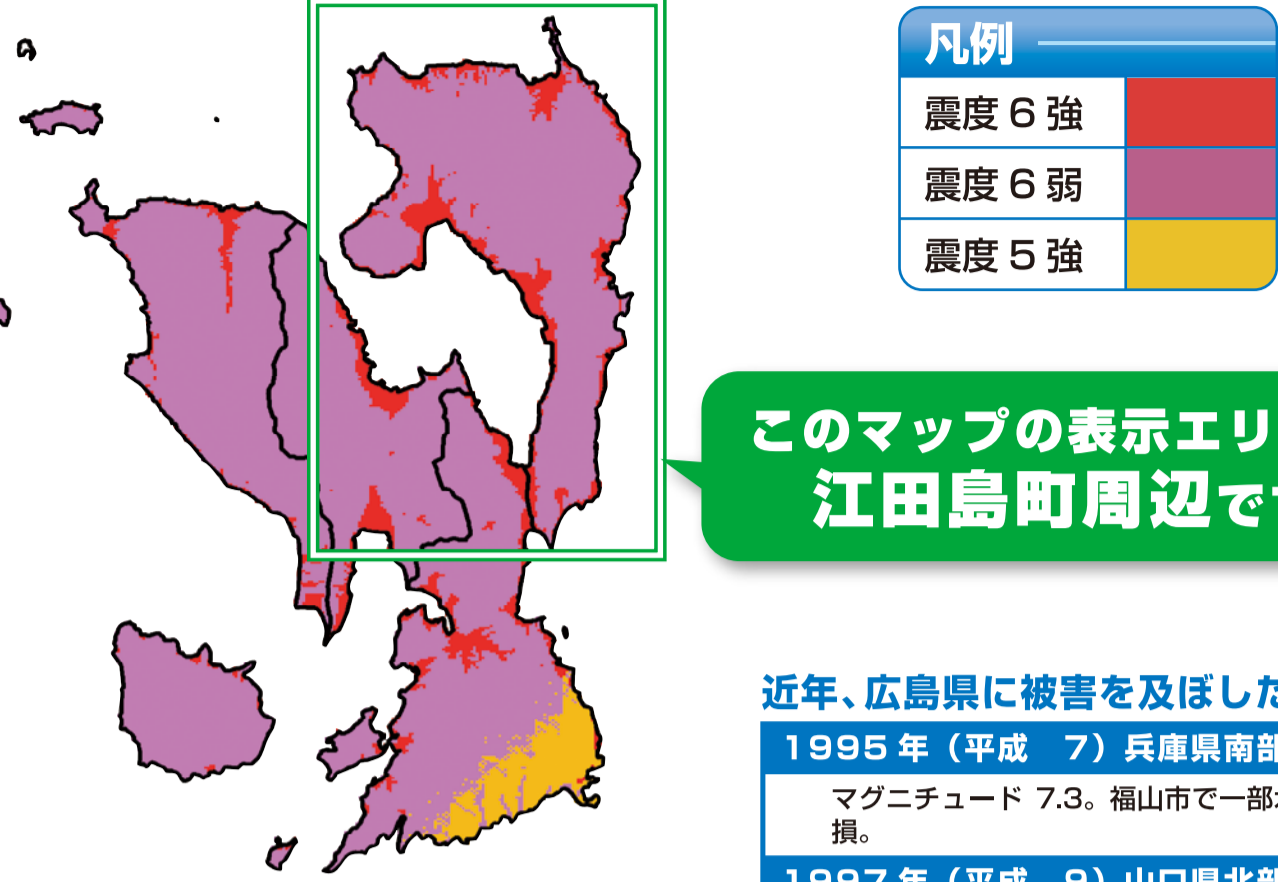


江田島町エリアのマップ



阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震以降、日本各地で毎年のように大規模な地震が発生しています。地震の発生が予想されていなかった地域での発生例もあり、地震はいつどこで発生してもおかしくない災害です。あなたの地域の危険性を知り、日頃から地震に備えておきましょう。

お問合せ先

江田島市 総務部 危機管理課
TEL: 0823(40)2218 FAX: 0823(40)2072
mail: kiki@city.etajima.hiroshima.jp

日頃の備え

地震発生時、家具の転倒によってケガをしたり、避難経路がふさがれてしまったりすることがあります。いざというときのために、家具を固定しておきましょう。

収納に工夫を!
重いものは下に、軽いものは上に、本棚などは、隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく隙間を作らない。

置き方に工夫を!
家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にしておく。就寝場所には、家具が倒れてこないよう配置する。出入口や通路には、なるべく荷物を置かないように。

耐震家具を利用しよう!
転倒防止金具や重ね留め用金具を用いて、家具を固定しましょう。また、扉や引き出しが開かないように固定したり、ガラスが割れないように透明シートを貼ったり、地震に備えて工夫しましょう。

照明器具の補強を!
吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止める。

地震に備えて、日頃から非常用持出品を用意することも重要です!

<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> お金、預金通帳	<input type="checkbox"/> 紙コップと器	<input type="checkbox"/> ポリタンク
<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 運転免許証、印鑑、保険証など	<input type="checkbox"/> 下着、着替え	<input type="checkbox"/> 寝袋
<input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 携帯電話と充電器	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 食器類
<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> メガネ、コンタクトレンズ	<input type="checkbox"/> ガスコンロ	<input type="checkbox"/> 調理器具
<input type="checkbox"/> 飲料水、非常食	<input type="checkbox"/> キッチン用ラップ	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> 工具

避難のときの心得

避難のときは、ヘルメット(防災ずきん)をかぶる。
避難のときは、ヘルメット(防災ずきん)をかぶる。
・非常用持出品は、両手がふさがらないようにリュックサックに入れて背負う。
・長袖、長ズボンを用意(燃えにくい木綿製品がよい)する。
・軍手をはめる。靴は底の厚い、はき慣れたものを。

避難のときの注意点

- 避難の前に、もう一度火の元、ガスの元栓、電気ブレーカーを確認しましょう。荷物は最小限です。
- 棚や自動販売機など倒れやすいものには近づかない。また、垂れ下がった電線などは危険なので、そばに寄らないようにしましょう。
- 子ども、障害者、高齢者の避難は、地域の人々が協力しましょう。

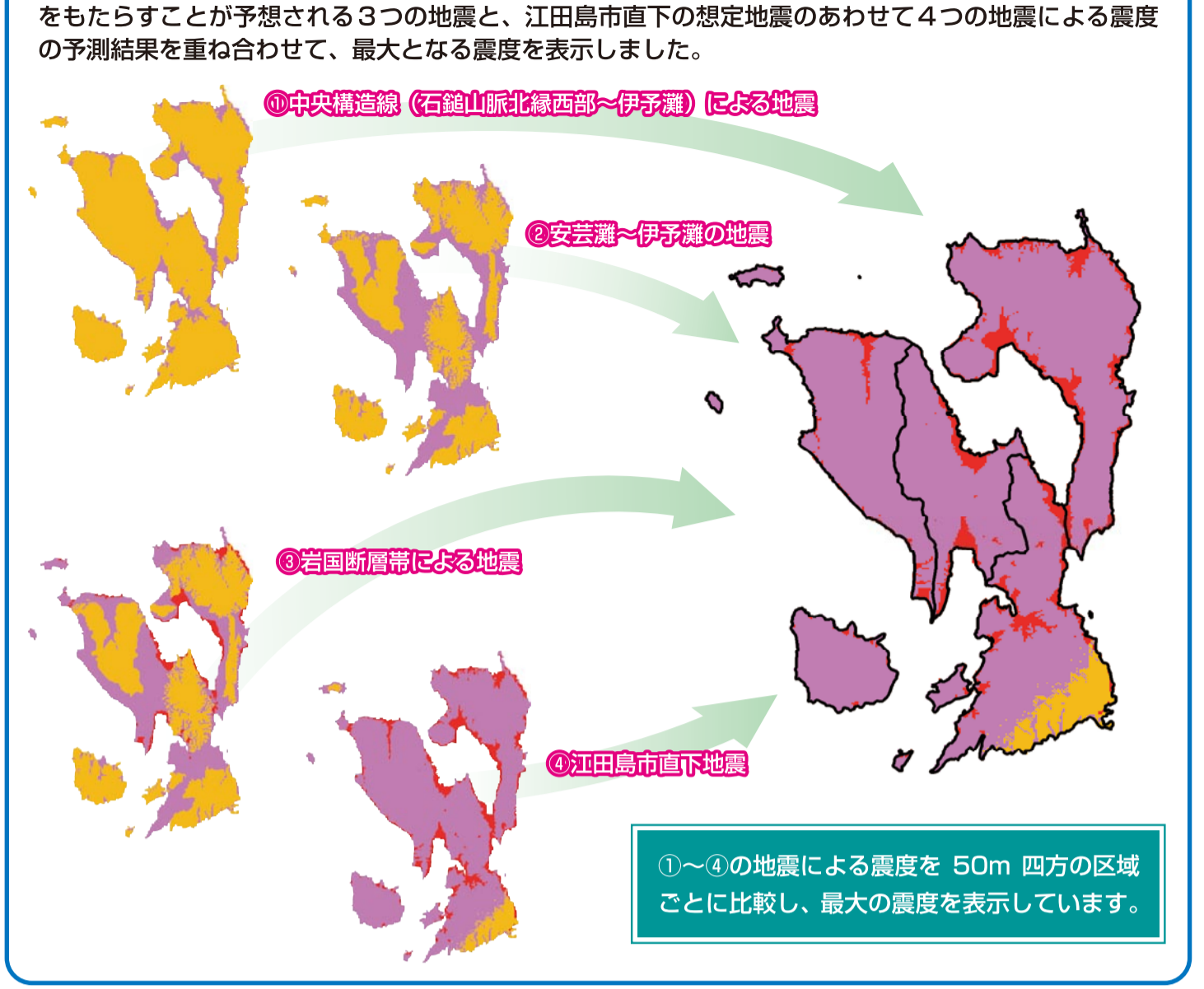
いざという時の連絡先(災害時伝言サービスの活用)

地震などの災害発生時には、安否の確認や連絡用に各電話会社から災害時の伝言サービスが無料で提供されています。くわしくは、各電話会社のサービス内容をご確認ください。

NTT西日本 171をダイヤルして、「災害用伝言ダイヤル171」を利用することができます。

各社携帯電話 サービス画面のトップページに表示される「災害用伝言板」を選択して、利用することができます。

ゆれやすさマップ(表面)の作り方



危険度マップ(裏面)の作り方

このマップは、江田島市を約50mの格子(メッシュ)に分け、ゆれやすさマップに示される震度と、地域の建物の構造種別(木造・非木造)及び建築年次を考慮し、各メッシュにおける建物全壊率を示したものです。

なお、個々の家の全壊率を示したものではありません。

例:全壊率20%とは

1つの格子(メッシュ)の中に5戸の建物がある場合、1戸が全壊、残り4戸が半壊、もしくは一部損壊・無被害と予想されるということを示しています。

半壊

無被害

一部損壊

全壊

あなたの家と地域はだいじょうぶ?

地震被害の大半は建物被害

阪神・淡路大震災では、直接被害者の約9割の方の死因が、建物や家具の倒壊による窒息死や圧死であることが明らかとなっています。

2名のうち10% 焼死・熱傷
88% 窒息・圧死

出典:警察白書平成7年度版

なかでも古い建物は特に危険

なかでも昭和56年以前に建てられた古い建物は、倒壊するおそれが高いことが分かっています。

昭和56年以前の建物	大層	中・小層	軽微・無被害
昭和56年以降の建物	大層・中・小層	軽微・無被害	

出典:阪神・淡路大震災建築震災調査委員会報告書(平成7年)

耐震化の促進により、建物被害は軽減できます。

国の地震防災の目標
平成27年度までに地震による死者数等を**半減**させる

江田島市では、地震に強いまちづくりを目指して、住宅及び建物の耐震化に取り組んでいます。市有施設の耐震化を進めるとともに、市民の皆様が、耐震化にもなる負担の軽減や耐震化を行やすい環境作りに努めていきます。

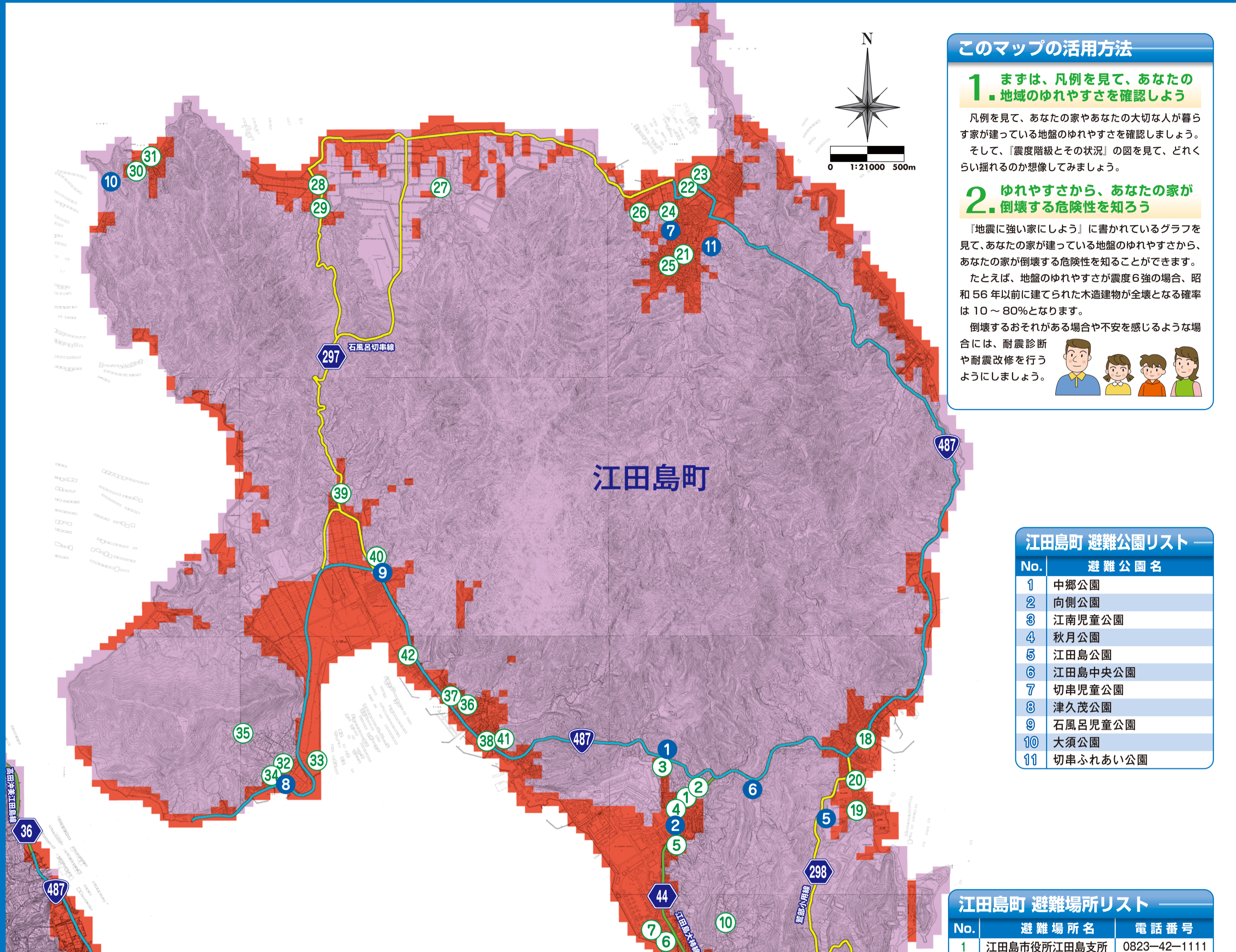
江田島市の地震防災の目標
平成27年度までに住宅の耐震化率を**75%**にする

ご家庭でもできる簡単な耐震診断方法

建築された年代や増改築の有無など10の質問に答えるだけで、ご家庭でも簡単にできる耐震診断方法があります。(財)日本建築防災協会のホームページをご覧ください。市役所にお問い合わせ下さい。

(財)日本建築防災協会 ホームページ
http://www.kenchiku-bosai.or.jp/wagayare/taisin_flash.html

誰でもできるわが家の耐震診断
「誰でもできるわが家の耐震診断」
出典:国土交通省住宅局(編)「住宅耐震診断の手引き」



このマップの活用方法

1. まずは、凡例を見て、あなたの地域のゆれやすさを確認しよう
凡例を見て、あなたの家やあなたの大切な人が暮らす家が建っている地域のゆれやすさを確認しましょう。そして、「震度階級とその状況」の図を見て、どれくらい揺れるのか想像してみよう。

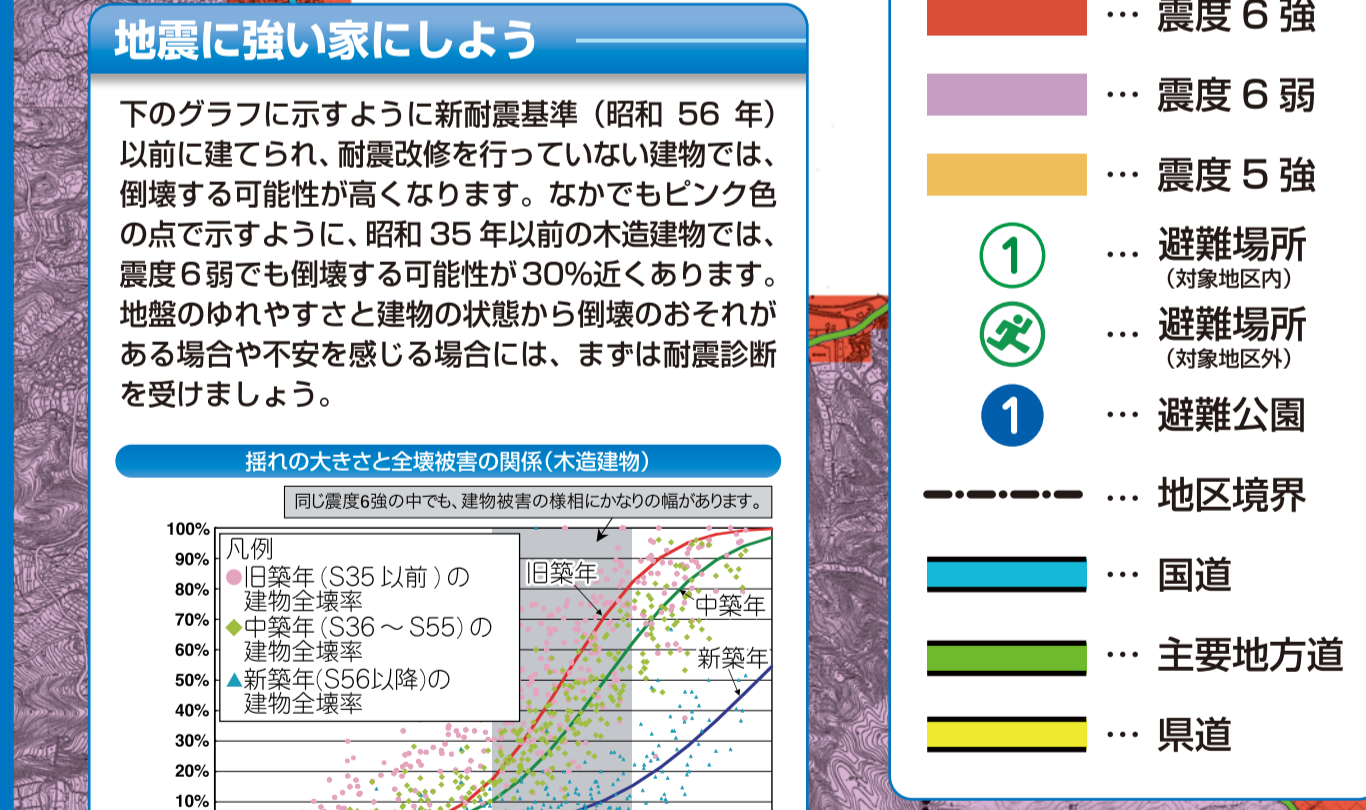
2. ゆれやすさから、あなたの家が倒壊する危険性を知ろう
「地震に強い家しよう」に書かれているグラフを見て、あなたの家が建っている地域のゆれやすさから、あなたの家が倒壊する危険性を知ることができます。たとえば、地震のゆれやすさが震度6強の場合、昭和56年以前に建てられた木造建物が全壊となる確率は10~80%となります。倒壊するおそれがある場合や不安を感じるような場合には、耐震診断や耐震改修を行うようにしましょう。

江田島町 避難公園リスト

No.	避難公園名
1	中郷公園
2	向側公園
3	江南児童公園
4	秋月公園
5	江田島公園
6	江田島中央公園
7	切串児童公園
8	津久茂公園
9	石風呂児童公園
10	大須公園
11	切串ふれあい公園

江田島町 避難場所リスト

No.	避難場所名	電話番号
1	江田島市役所江田島支所	0823-42-1111
2	江田島市武道館	
3	教法寺	0823-42-0027
4	江田島公民館	0823-42-0015
5	江田島幼稚園	0823-42-0171
6	江田島小学校	0823-42-0361
7	江田島中学校	0823-42-1177
8	矢ノ浦老人集会所	
9	江田島保育園	0823-42-1629
10	山田コミュニティホーム	
11	鷲部公民館	0823-42-0554
12	教内寺	
13	江南ふれあいセンター	
14	江南保育園	0823-42-2852
15	北高下集会所	
16	秋月公民館	0823-42-0230
17	秋月体育館	
18	江田島コミュニティセンター	0823-42-0104
19	江田島中学校小用体育館	
20	小用老人集会所	0823-42-0932
21	切串保育園	0823-43-0213
22	切串小学校	0823-43-0117
23	切串中学校	0823-43-0223
24	切串公民館	0823-43-0001
25	正念寺	0823-43-0726
26	西沖集会所	
27	エセギ会館	
28	幸ノ浦老人集会所	
29	幸ノ浦説教所	
30	大須説教所	
31	大須老人集会所・公民館	0823-43-0401
32	津久茂老人集会所	
33	津久茂体育館	
34	津久茂児童館	0823-42-1962
35	品覚寺	0823-42-1394
36	宮ノ原保育園	0823-42-1625
37	宮ノ原体育館	
38	宮ノ原公民館	0823-42-0047
39	江田島大原老人集会所	
40	石風呂老人集会所	
41	宮ノ原隣保館	0823-42-4620
42	立石集会所	



震度階級とその状況

震度5強
非常な恐怖を感じる。多くの方が、行動に支障を感じる。

震度6弱
立っていることが困難になる。

震度6強
立っていることができない。はわないと動くことができない。

まずは耐震診断を受けてみよう
倒壊のおそれがある場合や不安を感じる場合は、専門家による耐震診断を受けましょう。

出典:気象庁震度階級連動解説表(気象庁ホームページ)